

密封部分の異物検知

システムスクエア アルミにも対応

異物検査機製造のシステムスクエア（新潟県長岡市、山田清貴社長）は、食品を包装する際に封の部分（シール部分）に入り込んだ異物を検知する装置を開発した。従来はフィルム包装など主に透明なものが対象だったが、新製品はアルミ製の

新製品は「かみこみX線検査機」。価格は800万円。従来品は光学系のセンサーのみを使っていたが、中身が見えないアルミ包材などは検査できなかつた。新製品は光学系とX線の検査を併用し、アルミ包材でもシール部分で異物をかみこみでいないか確認できる。検査するシール部分の位置や感度などの設定作業を簡単にした。タッチパネルを使い機械の表示に従って操作できる。パート従業員が多い現場でも使いやすいとした。15日から都内で開く包装機械の展示会に出席する。